

メンバー、ボランティア、学生  
みんな仲間!

令和元年8月号

# けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

令和元年8月1日(第172号)

～たいよう号バス旅行 成田空港・空の駅(風和里しばやま)へ行ってきました～



7月5日(金)5名の実習生を含め、総勢20人参加しました。

- ・結構みんなと話せる時間が多かったので、いっぱい話せた。
- ・韓国の留学生と話せてすごく楽しかった。
- ・成田空港に行ったのは初めてです。みんなと計画的に動いて自然にのんびりでき、不思議な空間に触れ合えました。
- ・空の駅も売っている物がいろいろあって面白かった。
- ・空の駅前で、低空を休みなく飛んでいる飛行機には魅せられた。周辺で暮らしている人は騒音大丈夫なのか、戦闘機とか飛び交う基地のことも考えてしまった。

少し遠出のバス旅行も良いけれど、今回は近場で実習生とゆっくり話せたことが好評でした。

千葉市地域精神保健福祉セミナー 日帰り研修 総合病院 国保旭中央病院「こころの医療センター」

7月18日(木) 家族・ボランティア・職員が参加しました。

神経精神科主任部長の青木勉先生が中心的に動いてくださり「多機能型精神科チーム医療」について学ぶことができました。それは、重篤な精神障害を患っていても「その人らしく地域で生活すること」を目標として掲げています。それを実現するための経緯について丁寧な説明を受けました。「日本に生まれたる二重の不幸」を克服するために病院一丸となってより良い多機能型精神科治療を行っているという姿勢に私たちも励まされました。また、私たちが乗るバスまでの出迎え、見送り等青木先生を初め、スタッフの皆さんが揃ってやってくださったことも、温かさを感じ、前向きになれるような勇気をいただいた思いでした。



・有意義な研修でした。病院と同じ敷地内にある別棟の「心の医療センター」は、一貫した機能が整っていますね。娘も自然の中という環境で治療、入院できたらと親である私は勝手に思っていました。(Aさん)

・「旭中央病院」は入院時から精神科医、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理士がチームを組んで対応していました。外来の患者さんにも同じようなチーム医療が行われているということでした。日本は精神疾患で入院する人が世界的に見ても多いと聞きます。退院しても地域の中で生活するのがなかなか難しいのが現状です。その解決の一つであるような支援が旭中央病院で行われていて、どこの病院でもそのシステムが導入されるといいなあ・・・と思いました。雨天が続くなかで晴れ間の見えた「飯岡刑部岬展望台」からは富士山は望めませんでしたが、穏やかな波が見えました。(Bさん)

・規模の大きさに驚きました。地方ならではのゆとりあるスペースで、病室も明るい印象を受けました。(Cさん)  
・大きくて綺麗な病院でした。明るくスペースも広がったです。でも、使われていないのが、残念です。送迎の手段があれば利用する方は多いと思いました。(Dさん)

流尾 哲也さんが、7月14日にご逝去されました。

2009年3月4日から2014年7月まで園芸、2009年4月6日から2012年7月まで歌唱指導、2013年12月から2018年10月までボウリングのボランティアをやっていただき、私たちにとってかけがえのない存在でした。流尾さん、本当にありがとうございました。

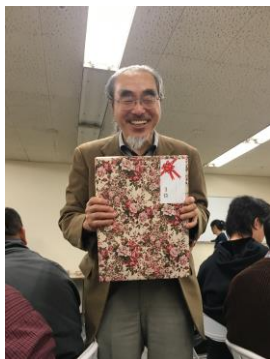
歌唱・・・ひとりひとりに歌いたい曲を聞いては、次回にその楽譜を用意してくれました。だんだん増えたレパートリーの曲が毎年6月にある音楽セミナーでも歌われることが多いので、これから、音楽セミナーの度に流尾さんの歌声も聞こえてくるような気がします。カラオケで一緒に歌ったことも忘れません。

ボウリング・・・ミーティングや準備運動も怠りなく行うこと、先のピンではなくスピッツを見て投げることなど、立ち位置から投げる腕の方向、フォームまで、優しく、時に厳しくボウリングの楽しさを教えていただきました。また、お孫さんとボウリングをやったことを私たちに話す時は、すっかりおじいちゃんの表情になっていたり、ボウリングでは結構負けず嫌いのところを隠さないの、ぐっと近づくことができました。どんな時でも前向きな流尾さんの姿勢を心に留めていきます。

園芸・・・種子蒔きをする時に「種子は赤ちゃんと同じ。だから優しく丁寧に蒔いてあげてね」と話す流尾さんのこと、今でも鮮明に覚えています。畑に癒しを求めている私たちの気持ちを救い上げてくれました。

ビックリです。前回のけやきと仲間めーるで近況を知り、ホッとしていたところでした。

最後まで意欲的に過ごされたのですね。流尾さんが園芸に参加して下さるようになって非常に心強く思ったものです。我々の年代になりますと死と云うものが非日常ではなく日常的になってきています。沢山の友人を亡くしました。肅々とそれを共に受け入れながら生活していかないといけないのかな・・・と非常に寂しく感じています。ご冥福を心よりお祈りします。(7月16日 馬田さんからメールをいただきました)



## 川柳

手相にも決意くつきり韓国語

腰痛だ鬱が溶って躁になる

ボクたちはみんな仲良く軽い鬱

目指そうぜみんな揃って軽い躁

軽い鬱躁とのサンド絶妙だ

障害を理解したなら認めろよ

ありがとう笑顔あふれる助け合い(映舞)

真っ黒になりつつ支えるマネージャー(滯)

層積雲エンジン音を包みこむ(杏奈)

満面の笑みは本音を言ったから(真美)

見てごらん歌い踊るよひとつの輪(LEE紫)